

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：36009
学校名：真駒内曙中学校

改訂のポイント		○自ら疑問や課題をもち、挑戦する意欲を伸ばし、主体的に解決し、表現する学習活動の充実を図る。	
項目名	項目内容	項目内容の具体	
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付ける。 ☆基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、自ら難しいことや新たな目標に挑戦する。	
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ・「分かる・できる・楽しい」と感じられる授業の充実 ・学校で統一した学びのスタンダード	【成果】 ⇒「授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている」と答えた生徒の割合が80.2%で、札幌市の結果を上回っており、昨年度より11.4ポイント上がっている。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ・課題探究的な学習の充実	【成果】 ⇒「授業中、友達や先生の説明、意見を終わるまで聞いている」と答えた生徒の割合が94.2%で、札幌市の結果を上回っており、昨年度より3.3ポイント上がっている。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ・TTの活用 ・家庭学習の「手引き」の作成	【成果】 ⇒「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力するようにしている」と答えた生徒の割合が80.2%で札幌市の結果を上回っており、昨年度より6.2ポイント上がっている。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 「挑戦する意欲を伸ばし、自ら学び、人と学び合う力を育む実践活動」の充実を図る。	
	具体的な改善策（取組）	○自ら学ぶ力を育てる（自立）ための、適切なノートの使い方や発表の仕方・調べ方等の学び方の指導と基礎学力の定着と自主的な学習（計画を立て、繰り返し練習する）を進めるための家庭学習の仕方等の指導 ○話し合い活動における共通指導事項の定着を図り、他と協働しながら（共生）、新たな価値を創り出す（創造）支援 ○個を生かす教育の実現に向けて ・一人一人のよさや伸びを認める指導と評価 ・放課後の時間を利用した補充的な学習指導、学習支援の時間の確保 ・習熟度別少人数指導及びTT指導の一層の充実や学びの支援パートナーの有効活用 ○6つのセルフチェックの視点に基づいた課題解決的な学習を取り入れた授業の充実（教師間の参観と指導案の交流） ○授業力向上のための教科研修の充実 ○日常並びに長期休業中の適切な課題の提示と学習支援	
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○札幌市全体の共通指標の活用 ○全国学力・学習状況調査の活用 ○学校評価アンケートの活用 ○標準学力検査の活用 ○各教科の評価基準に基づく学習状況評価結果の活用	